

●新刊図書紹介 (☆はピックアップ図書)

図 書 名	著 者	出 版
法 令 関 係		
☆ みんなでつくる子ども・子育て支援制度 子育てしやすい社会をめざして	前田 正子	ミネルヴァ出版
☆ 改正生活保護法 新版・権利としての生活保護法	森川 清	あけび書房
☆ 津波防災地域づくりに関する法律の解説	津波防災地域づくりに関する法律研究会(編)	大成出版社
行政法研究(第5号 2014/3) 特集:グリーンアクセスの実効的保障をめざして	宇賀 克也	信山社出版
判例から学ぶ憲法・行政法 第4版	川崎政司、小山剛	法学書院
行政法解釈の基礎 「仕組み」から解く	橋本 博之	日本評論社
判例から考える憲法	小山剛、田尻剛	法学書院
自治体職員のための番号法解説 完全対応	宇賀克也、水町雅子	第一法規出版
そ の 他		
税金を払う奴はバカ! 搾取され続けている日本人に告ぐ	大村 大次郎	ビジネス社
税務署VS脱税者 どんな善人でも税金はごまかす(角川SSC新書)	大村 大次郎	KADOKAWA

もっと知りたい! 和歌山城 その① 天守閣編

日本史大好き、趣味はお城巡りな図書室職員が、和歌山城の豆知識をご紹介します♪



①実は元・国宝!

現在の和歌山城天守閣は、再建された建物です。昭和20年に戦災で焼失し、昭和33年に建てられました。

しかしこの天守閣、焼失以前は国宝に指定されていたのです。当時はあの姫路城に次いで、2番目の国宝指定。現在国宝に指定されている天守閣は4つしかありませんから、焼失していなければ、とんでもなく貴重なお城でした。

ですが、再建された天守閣も、外観は江戸時代の姿そのもの! さすが徳川御三家の居城、堂々とした風格です。

②建て方に特徴あり

和歌山城の天守は「連立式」と形式で建てられています。「連立式」とは、天守と二つ以上の小天守を、中庭を取り囲むように建て、それらを渡櫓でつなげた建て方のこと。この建て方はとても珍しく、全国でも数例しかみられません。

また、天守閣の「石落」と呼ばれる部分は、ふっくらと丸みのある形をしており、これも珍しいもので、ほかのお城には見られない特徴的な形です。

和歌山城は、このように細部にもこだわりがいっぱい。

意識しながら見ると、新たな発見がたくさんあり、とても面白いです。

和歌山城の魅力を再発見していただけるように、今後もこのコーナーを通じて、和歌山城の見所を紹介していきます。



石落(いしおとし)



↑一般的な石落の形
(写真は松本城)

参考文献: 三尾 功「近世都市和歌山の研究」(思文閣出版)

三浦 正幸「城のつくり方図典」(小学館)